

# 柳津小学校だより

# 鳴神山



2019, 10, 18 No. 20  
柳津町立柳津小学校  
発行者 校長 星 潔



## 柳小秋祭りに向けて頑張っています！！

いよいよ10月26日（土）に柳小秋祭りが迫ってきました。どの学年も学年発表の練習に力が入ってきました。「やるぞ なかまと いつでも づ（ず）っと」でチーム柳小のみんなは当日までに、少しでも良い発表になるように学級ごとに団結して取り組んでいます。また全校合唱の練習も行っています。チーム柳小、心を1つに歌声を響かせることができるように、こちらも頑張っています。秋祭り当日は、お忙しい中だとは思いますが、ぜひご家族様、ご近所様、お誘い合わせの上、本校に来校され、子どもたちの笑顔あふれる姿をご覧ください。お待ちしております。



## 各種コンクールでも頑張っています！！

2学期に入り、様々なコンクールで本校児童が表彰されています。素晴らしいです。以下、主な入賞結果を掲載いたします。

＜令和元年度 両沼地区読書感想文コンクール＞

準特選	1年 遠藤 光基	4年 牧野 友香	
入選	2年 齋藤いろは	3年 齋藤ひなた	5年 渡部 愛琳
	6年 齋藤 柏都		

＜令和元年度 両沼地区児童理科研究物展＞

入選 4年 牧野 友香

※ これからも絵画のコンクールや音楽の創作のコンクールなど、様々なコンクールが開催されます。チーム柳小のみんなが頑張っています。

## 全校朝の会・校長の話より(10/18)

今日はこの写真を見てください。何の写真かな？そうラグビーのワールドカップです。日本代表は見事予選リーグを4連勝で通過し、初のベスト8、決勝トーナメントへ進出しました。これは本当にすごいことです。

さて、ラグビーというスポーツは10個のポジションがあり、15人で1つのチームをつくれます。身長が低い人でも、太っている人でもどんな人でも活躍するチャンスがあるスポーツだと言われています。マイナスではなく自分の良いところプラスを活かし、プレーできます。自分を無理に変えなくても、チームに居場所があります。どんな人でもありのままの姿でいいのです。

またラグビーというスポーツはチームが勝つために、自分を犠牲にするスポーツでもあります。自分が目だたなくても、仲間を信じパスを出す。自分の体を犠牲にして、チームのためにこわくても逃げずに全力でぶつかるなど。1人はみんなのために。みんなは1人のためにで取り組むスポーツです。

これは学校やみなさんの学級にもつながるのではないのでしょうか。どんな人でも自分のよさをいかせば活躍のチャンスがある。自分のありのままの姿を変えなくても認めてもらえるクラス。クラスのために、学校のために、みんなのために、自分を犠牲にして、どんなことにも全力で取り組む。困っている人がいたら、みんなで1人を助けてあげる。ラグビー日本代表に負けずに、チーム柳小も新しい歴史を刻めるのではないかと思います。

ジェイミー・ジョセフ・ヘッドコーチ（監督）は、直前まで世界ランク1位で、対戦したときにも世界ランク2位だったアイルランド戦前にこんなことを言っています。

誰も（日本が）勝つとは思っていない

誰も接戦になると思っていない（アイルランドが大差で勝つと思っている）

でも、誰も僕らが（ワールドカップのために）どんな犠牲をしてきたかわからないし、でも僕たちだけは勝つことを信じている。

選手やスタッフのみなさんは本当に全力で勝つことを信じていました。だってそのためにものすごい努力をして、ラグビー以外のことを捨ててきたわけですから。日曜日、ラグビー日本代表は今までにワールドカップ優勝2回の優勝候補の南アフリカと対戦します。でも校長先生は信じて応援したいと思います。

そしてもちろんチーム柳小のみなさんの努力も信じて、日本代表以上に、日本代表の何倍も。全力で応援し続けていきます。まずは柳小秋祭り、ありのままの自分の最高の姿で、1人はみんなのために、みんなは1人のためにで、最高の発表に向けてがんばってください。これで校長先生のお話を終わります。

こんな話を子どもたちにしました。チーム柳小のみんなが自分のよさを活かして、1人はみんなのために、みんなは1人のためにで、一致団結して行ってほしいと思います。まずは秋祭りですね。チーム柳小の保護者の皆様も、全力で全校児童を応援していただければありがたいです。よろしく願いいたします。